

平成26年度第2回

山梨県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会開催概要

1 開催日時 平成27年3月11日(水) 10:00~12:00

2 開催場所 山梨職業訓練支援センター 会議室b

3 協議内容

平成26年度事業実施状況及び平成27年度事業実施計画について

4 議事経過

各委員からの主な意見は以下のとおり。

- ◇ 平成27年度事業実施計画について、平成26年度第1回運営協議会における委員の意見を積極的に取り入れてもらっている。離職者訓練のカリキュラムに柔軟性が見られ、ポリテクセンターのやる気を感じた。
- ◇ 離職者訓練の紹介、親子ものづくり体験教室、女性のためのものづくりの仕事セミナー及び人材育成研究会など、地元のテレビ局や地域の大手新聞社が興味を示し放映及び記事に取り上げてくれたことが、ポリテクセンターの業務をPRする上で効果的であった。
- ◇ 定着率について、短期間の調査だけでなく、3~5年位追跡してみてもどうか。成果がどのように出ているかを長く見ていく必要があるように思う。
- ◇ 溶接業界において、ポリテクセンターの修了者(女性)を受け入れている。配属に当たり、内勤か現場か検討したが、本人が現場を希望したという事例がある。
- ◇ 女性特有の環境整備について、ポリテクセンターから企業へのアプローチをお願いしたい。
- ◇ 大型雇用調整企業からの離職者については、ポリテクセンターができるだけ多く訓練受講者として受け入れるのが使命であろう。
- ◇ 会員企業の中では、職業訓練は技能・技術を身に付けるということで評判がよい。新設する電子制御技術科についても、会員企業に対し、求人等、周知していきたい。
- ◇ 施設の利用について、もっと利用できるよう取り組んでいただきたい。ただし、その場合、民業圧迫とならないよう、ポリテクセンターの業務に特化したかたちでPRをしていただきたい。

運営協議会委員（敬称略）

萩原 親作	山梨大学工学部機械工学科教授
堤 マサエ	山梨県立大学名誉教授
清水 健	株式会社山梨日日新聞社論説委員
中澤 晴親	日本労働組合総連合会山梨県連合会会長
小林 明	甲府商工会議所事務局長
小池 基次	山梨県経営者協会専務理事
新海 一男	山梨県中小企業団体中央会専務理事
深澤 博昭	山梨県商工会連合会専務理事
中出 英三	一般社団法人山梨県鉄構溶接協会会長
米丸 洋	山梨労働局職業安定部長
萩原 憲二	山梨県産業労働部産業人材課長
宮川 洋	甲府市産業部産業総室労政課長
水口 明臣	山梨県職業能力開発協会専務理事